

R3年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金
R2年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきいと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。観月の夕べ、県文協選抜芸能祭・美術展、市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 中止(補助金交付なし) (R3年度) 新型コロナウイルス感染拡大予防措置を取っての事業実施を団体に指導。 (R4年度) 新型コロナウイルス感染拡大予防措置を取っての事業実施を団体に指導。				
法令 根拠		実施 形態	内容	若年層を含む団体数、会員数増のために事業内容に関する指導・助言		
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
構成団体の数		団体	目標値	35	35	-	31	31
			実績値	35	31	-		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
構成団体の構成員数		人	目標値	350	350	-	310	310
			実績値	335	310	-		
計算 根拠	文化協議会からの聞き取り	達成率	95.7	88.6	-			
		実数値						
		ランク		A	B	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,150	2,150	2,150	0	1,935		事業タイ	単独事業
	決算額	2,150	2,150	2,150	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,546	1,935	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,935

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	16

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **12 / 16 B**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
R3年度は、主な事業として「観月の夕べ」、「芸能祭」、「文協総合展・合同茶会」を実施予定であり、補助金を交付予定。

来年度へ向けて R2年度の実績  
R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を実施できなかったため、補助金は交付しなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が実施できなかった。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため予定していた事業開催ができない場合があり、加入者、加入団体が減る可能性がある。また、会員の高齢化に伴い、会員数、団体数ともに加入数が減少の傾向にある。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
コロナ対策を考慮した事業企画の立案を指導、HPなどで市民全般に団体の活動を周知する他、若い年齢層も興味を持ち加入しやすいようにするなど団体の事業の在り方や事業内容について協議、指導し、文化団体の育成を図る。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業
R2年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	2022
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収の実施、整備計画の策定、各種設計書の作成、関連工事の実施をとおして古墳公園化を目指す。				
	コロナ対応 の取組	工事監理業務については、メールや電話等を多用し、接触回数を可能な限り減らす。				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	国庫・県費補助事業として市が整備計画事業を推進し、古墳公園化を目指す。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
事業進捗率		%	目標値	16	20	30	75	100
			実績値	16	20	30		
計算 根拠	公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計・一部工事着工、令和2年度から令和4年度に施工し完成予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難な	達成率	100	100	100			
		実数値	16/100	20/100	30/100			
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	7,053	7,200	18,810	61,552	238,921		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	7,053	6,822	18,810	39,888			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	501	文化財保存整備事業費(補助)	238,921	238,921	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	238,921

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国庫補助)	119,460
2	国指定文化財等保存修理補助金(国費補助)	5,000
3		
4		
5以降		
合計		124,460

事業要員	正規職員	0.33
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
令和3年度は第3期整備工事を実施する。  
委託内容: 工事監理業務委託、遺跡イラスト制作業務委託  
工事内容: 敷地造成工、植栽基盤工、法面工、植栽工、雨水排水設備工、給水設備工、園路広場工、電気設備工、サービス施設整備工、建築施設組立工ほか

来年度へ向けて R2年度の実績  
追加実施設計の作成。第2期整備工事(施設撤去移設工・樹木伐採工・一部雨水排水設備工・一部敷地造成工ほか)および工事監理の実施。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
R2年度については、国の現状変更許可が一部にとどまったため事業計画に遅延が生じた。  
R3年度については、国・県へ要望通りの事業額補助が採択されたことにより前年度の遅れを取り返すことが出来ているが、コロナの影響により設備工事製品の工期内納期が不透明な状況にあり、これにより他の工事へ影響が出ることが懸念される。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
今後の事業計画について国・県と協議を行い、事業完了まで必要な予算を確保して工事を実施する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R4年度 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金
R2年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) コロナ禍で他所へ出ていく活動が無くなり、公民館での講座等に切り替えたことにより、規模を大幅に縮小して活動。よって、令和2年度は補助金を交付せず。 (R3年度) コロナ禍が収束するという見通しに基づき例年通りの事業内容としていたが、引き続き厳しい社会情勢により会の活動が縮小していることから、補助金については不交付あるいは減額して交付することを検討。				
法令 根拠		実施 形態	内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
普及活動回数		回	目標値	40	40	-	30	30
			実績値	45	49	-		
計算 根拠			達成率	112.5	122.5	-		
			実数値					
			ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	300	300	300	0	270	事業タイ	単独事業
	決算額	300	300	300	0		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,546	270	
2								
3								
4								
5以降								
合計							270	

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	②事務改善 評価点数の合計 <b>7 / 20 C</b>	
①必要性 評価点数の合計	<b>12 / 16 B</b>		

ACTION

今年度	R3方向性⇒ <b>内容縮小</b>
取組内容	コロナウィルスの影響により、令和3年度も会の活動が制限される可能性が高いものの、可能な限り継承活動に取り組むという姿勢を継続していることから補助金を交付する。
来年度へ向けて	R2年度実績 コロナウィルスの影響により会の活動が出来なくなったため、交付金を不交付とした令和元年度の会の活動実績から判断して令和2年度の事業計画は例年並みと判断したが、コロナウィルスの影響により活動の大幅縮小を余儀なくされると判断し補助金不交付とした。 R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題 踊りの練習についてはマスク等によるコロナ対策を実施したため活動環境が幾分か改善傾向にあるものの、対外的な参加活動(祭りやイベント等)については激減しており殆ど参加出来ない厳しい状況が続いている。 このような状況のなか参加会員数が減少に転じ、会の活動や運営ひいては民俗文化財の継承活動が滞る可能性がある。 実績と課題を踏まえたR4年度の変更点 コロナ禍により令和4年度も例年並みの事業実施は不透明な状況であるが、普及啓発活動においては可能な範囲で学校での講習会等を積極的に働きかけるなどの後継者育成のための活動を行うよう協議・指導し、前年度並みの補助金(予算)を確保し支援を継続する。
R4方向性⇒	<b>維持</b>

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	まなべDEわくわく!! アートフェスタ
R2年度 事業名	まなべDEわくわく!! アートフェスタ

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

P L A N ( 計 画 )	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をととして、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館 まなべの館として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 中止。 (R3年度) 感染予防対策を踏まえ、1日で行っていた事業を日にちを分散して開催。 (R4年度) 感染予防対策を踏まえ、事業を3日に分散して開催。				
法令 根拠		実施 形態	内 容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
体験教室の回数		日	目標値	1	1	-	3	3
			実績値	1		-		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
参加人数		人	目標値	370	370	-	360	360
			実績値	400	400	-		
計算 根拠			達成率	108.1	108.1	-		
			実数値					
			ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D  
O  
(  
実  
施  
)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	709	650	650	0	714		事業タイ	単独事業
	決算額	709	545	549	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	7,748	714	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	714

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	参加者負担金 (@500円×200人)	100
2		
3		
4		
5以降		
合計		100

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容 R3年度は新型コロナウイルス感染予防対策を十分に配慮し、3回にわけて少人数制で実施する。

来年度へ向けて R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け実施しなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止。R3年度は3日に分けて実施。3日に分散するため講師、サポーターの確保の他、コロナ感染予防対策のため人数を制限、換気、消毒など万全の感染予防対策を講じなければならない。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
R3年度は従来1日で行っていた事業を日にちを分散させて行う体制に大きく変換した。R4年度は時間割数やカリキュラムの内容構成など細かい点に目を配り参加者の満足度をアップさせる。また、申請方法もWEB申請にし事務の効率化を図る。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R3年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
R2年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	建造物をはじめとする文化財を舞台・素材としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財(建造物等の有形文化財等)の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財所有者の了承のもと文化財等を公開し市民が直接目に触れる機会を提供する。提案型市民主役事業。				
	コロナ対応 の取組	(令和2年度)屋外イベントであったため感染拡大防止の観点から中止 (令和3年度)隔年開催としたため実施せず (令和4年度)コロナ対策を講じて実施するが、集客が困難と判断される場合はWEB配信など他の方法も検討する				
	法令 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	提案型市民主役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施		回	目標値	1	1	-	-	1
			実績値	1	1	-	-	
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
観客者(参加者)数		人	目標値	200	200	-	-	200
			実績値	209	193	-	-	
計算 根拠			達成率	104.5	96.5	-	-	
			実数値					
		ランク		A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナウィルスの影響により、実施出来なかったため							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,180	1,080	1,080	0	0		事業タイ	単独事業
	決算額	1,180	1,080	1,080	0	0		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務諸経費	5,231	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい) <input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5	有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	有効性 今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	②事務改善 評価点数の合計 <b>4 / 20 D</b>
①必要性 評価点数の合計 <b>13 / 16 A</b>	

ACTION

<b>R3方向性⇒</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">隔年実施</span> 今年度 取組内容 令和3年度は実施しない(事業を隔年度開催とすることとなったため。次回は令和4年度に実施予定)。
<b>来年度の実績</b> 令和2年度は、コロナウィルスの影響により事業を中止した。 <b>R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題</b> 過年度の参加者数から判断してニーズは十分にあるが、コンサートという多人数参加型のイベントであるため、コロナ禍の社会情勢での開催は容易ではない。
<b>実績と課題を踏まえたR4年度の変更点</b> 提案型市民主役事業であることから、今後はコロナ対策を踏まえた提案内容を条件とし、集客が困難な場合の対策としてWEBでの映像配信といったITコンテンツを利用した代替案を検討する。また、文化財の収容人数に限界がある場合は、2回公演実施や動画配信等を検討して参加者増を図る。さらに、費用対効果の観点から入場料金の徴収を検討する。
<b>R4方向性⇒</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; color: red;">維持</span>

【提案型市民主役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	可能
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,100

R3年度 事業名	ふるさと鯖江検定事業
R2年度 事業名	ふるさと鯖江検定事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	2023
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や市の取り組みなど幅広いテーマで出題する検定をWEBで実施する。(令和元年度より)。また、子どもむけのキッズ検定では、子どもの頃からふるさにと愛着をもつように学校と連携し、出前講座を活用実施する。(平成27年度より)。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)キッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策をとり実施。 (R3年度)出前講座等を介して行うキッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策を充分にとり実施。 (R4年度)出前講座等を介して行うキッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策を充分にとり実施。				
法令 根拠		実施 形態	内容	市職員が問題を作成する。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
検定の実施		回	目標値	2	2	1	1	1
			実績値	2	2	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
受験者数(申込者数)		人	目標値	150	150	75	75	400
			実績値	302	359	592		
計算 根拠			達成率	201.3	239.3	789.3		
			実数値					
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	248	209	89	8	50	事業タイ	単独事業
	決算額	144	43	39	8		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	7,748	50	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	50

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **9 / 16 B**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容 R2年度と同様な形態で実施。

来年度へ向けて R2年度はWEB受検制を重視し、192名の受検があり、キッズ検定では、400人の受検があった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
R2年度同様R3年度もWEB受検体制に移行し、気軽に受検できるようになったが、事業の周知度が弱いのが課題となっている。また、キッズ検定では学校の協力体制が不可欠となっている。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
R2年度同様、WEB検定をHPやSNSを活用して広く周知し、受検者数増を図る。また、子どもたちに検定を通して鯖江の良さを知ってもらうため、学校と連携し出前講座等を活用して行う。

R4方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	鯖江市美術展開催事業
R2年度 事業名	鯖江市美術展開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、鶴陽会館の2会場。会期は5日間。運営にあたっては、アートスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気がるにあーと展」も同時開催する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。 (R3年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。 (R4年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	市民が主体となった実行委員会で実施する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	作品の応募点数		点	目標値	450	450	225	225	225
				実績値	377	-	375		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	会場への来場者数		人	目標値	8,000	8,000	4,000	4,000	4,000
				実績値	8,009	-	6,205		
	計算 根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。*H24から開催期間が10日間から5日間に変更。*H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。		達成率	100.1	-	156.2		
				実数値					
			ランク	A	-	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,280	2,263	2,405	2,905	2,891		事業タイ	単独事業
	決算額	2,110	1,949	691	2,541			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	7,748	2,891	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,891

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	出品料(@1,300円×250人)	325
2		
3		
4		
5以降		
合計		325

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性  
今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性  
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **4 / 20 D**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容  
R3年度は年度と同様の形態で、オンラインの活用など新型コロナウイルス感染予防対策を取り実施する。

来年度へ向けて  
R2年度は新型コロナウイルス感染予防対策を十分に配慮し、搬入から搬出、表彰式を時間制、少人数制で実施、オンラインを活用したワークショップを実施し、総出品数375点、6,205人の来場者数があった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
個人の芸術文化活動が制限される中、市民が安心して自己の創作活動を発表することができる場を失わないようにすること、そのために感染予防対策を徹底し実施することが重要課題である。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
関連イベントの縮小やオンライン化、作品の搬入・搬出を時間制に変更、作業人数を制限するなど感染予防体制を整えて開催するとともに、市民の芸術文化活動を支援するために、人材育成や技術向上を目的とした芸術講座等(オンラインを含む)を引き続き企画していく。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R4年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業
R2年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業

総合戦略 体系	325	若くて元気なまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けして「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演を委託する。</li> <li>・「立待月観月の夕べ」開催を委託する。令和3年度より事業名を「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として市民主役事業として隔年で委託する。</li> <li>・近松入門講座を市民主役事業として委託する。令和3年度よりさばえ近松倶楽部へ委託。</li> </ul>				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 中止 (R3年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に取り実施。 (R4年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に取り実施。				
法令 根拠		実施 形態	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」とし市民主役事業として隔年開催、「近松入門講座」はさばえ近松倶楽部に委託して開催する。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	近松座による出前公演の回数		回	目標値	15	15	-	7	6
				実績値	17	11	-		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数、近松入門講座の参加者数		人	目標値	10,500	10,500	-		
				実績値	10,000	10,000	-		
	計算 根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。 R1年度:近松入門講座の参加者数を追加		達成率	95.2	95.2	-		
				実数値			-		
	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業の参加者数		人	目標値			-	550	300
				実績値			-		
	計算 根拠	「近松が生まれ育ったまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度:近松入門講座の参加者数を追加 ※発信事業の内訳は近松講座、文楽公演委託事業、近松が生まれ育ったまちさばえ発信事		達成率			-		
				実数値			-		
				ランク	A	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,700	1,882	2,000	0	2,348		事業タイ	単独事業
	決算額	1,700	1,769	1,803	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	7,748	2,348	
2								
3								
4								
5以降								
合計							2,348	

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
効率性  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  
効率性  ある  ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  
有効性  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
有効性  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容  
R3年度は、提案型市民主役事業「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」、「近松講座」、文楽公演委託事業を行い、近松が生まれ育ったまちさばえの全国発信を強化していく。

来年度へ向けて R2年度の実績  
R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて提案型市民主役事業「近松講座」、文楽公演委託事業、近松のまちづくり推進活動事業開催業務委託は実施できなかった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
近松講座、近松座ともに高齢化による会員数が減少の傾向にある。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業の開催が難しく、「近松が生まれ育ったまちさばえ」の発信が虚弱化する可能性がある。また、事業効果を高めるため、近松関連の団体が連携して事業を集約する必要がある。さらに、近松生誕370年となる令和5年(2023)に向けて、市および県内外にとどまらず、情報発信を行う。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
R3年度より立地地区に限らず広く市民が参加できる事業として、近松が生まれ育ったまち発信事業を市民提案型に変更し隔年開催(3月)とした。R4年度は、文楽公演委託事業についても委託内容に小中学生対象の人材育成項目を追加するなどし、近松入門講座や近松座などの関係団体と連携し近松が生まれ育ったまちさばえの周知強化を図る。R4年度は市民提案型の発信事業は隔年開催のため行わない。

R4方向性⇒ **内容縮小**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	未実施	未実施	実施	未実施

R3年度事業名	近松が生まれたまち鯖江発信事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,100
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R3年度 事業名	文化財調査事業
R2年度 事業名	文化財調査事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のマチの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	文化財を保存保護し、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査のほかまなへの館で未整理となっている古文書等の調査を実施する。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施する。事業の一部については、高度な専門的知識と技術をもつ明治大学および京都女子大学の専門家に委託する。				
	コロナ対応の取組	(令和2年度)外部調査委託は実施出来ず (令和3年度)外部委託の実施は厳しい状況 (令和4年度)コロナ禍が終息することを前提に予算を確保するが、前年度と同じ情勢が続けば事業の縮小あるいは中止を検討				
法令根拠		実施形態	内容	市職員(学芸員)および専門機関(大学)に一部を委託して直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	古文書の搬入点数	点	目標値	2,000	300	-	300	300	
			実績値	2,000	400	-	-	-	
	悉皆調査の回数	回	目標値	5	5	1	3	3	
			実績値	10	9	1	-	-	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	古文書の調査作成点数	点	目標値	2,000	300	-	300	300	
			実績値	2,000	400	-	-	-	
	計算根拠		達成率	100	133	-	-	-	
			実数値						
	調査した文化財の数	件(点)	目標値	10	5	1	3	3	
			実績値	10	9	1	-	-	
	計算根拠		達成率	100	180	100	-	-	
実数値									
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	60	60	860	174	1,121		事業タイ	単独事業
	決算額	60	60	841	20			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務経費	5,231	500	
2	10	5	7	203	文化財調査事業費	1,522	621	
3								
4								
5以降								
							合計	1,121

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.34
	臨時・嘱託	0.87
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
効率性  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
効率性  ある  ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
有効性  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
有効性  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
コロナウィルスの影響が落ち着くことを前提として例年通り実施予定。なお、大学等への調査事業委託の実施については、大学側および市側の対応状況を勘案して可否を判断。なお、事務局対応可能な調査事業については実施する予定。

R2年度の実績  
R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
調査委託先が県外の研究機関(大学)であるため、コロナ禍による移動制限下では調査が困難。コロナ禍を理由として文化財所有者から調査延期の要請事例があり、調査環境が厳しくなっている。県外研究機関による調査が出来ない場合、県内在住の専門家および事務局による限定的な調査にならざるを得ない(事業縮小)。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
継続調査物件のためコロナ禍が収束することを前提に予算を確保するが、前年度と同じ情勢が続けば事業の縮小あるいは中止を検討。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度 事業名

R4年度 事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	まなべの館企画展開催事業
R2年度 事業名	まなべの館企画展開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等のさらなる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)当初、企画展2本を予定していたが、会期を変更して1本のみ開催。 (R3年度)新型コロナウイルス感染予防対策を取り企画展2本開催。 (R4年度)新型コロナウイルス感染予防対策を取り企画展2本開催。				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成を行なう。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
企画展の開催		回	目標値	3	3	1	2	2
			実績値	3	3	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
入館者数		人	目標値	7,000	5,000	1,000	2,500	2,500
			実績値	14,206	8,486	1,863		
			達成率	202.9	169.7	186.3		
計算 根拠			実績値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,000	5,000	5,000	4,500		事業タイ	単独事業
	決算額	5,000	5,000	5,000	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	8	203	文化事業運営費	4,500	4,500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,500

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	観覧料(@200円×4000人)	800
2		
3		
4		
5以降		
合計		800

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性  
今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性  
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **4 / 20 D**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容  
企画展2本を予定していたが、企画展「(仮)鯖江藩立藩300年記念展」を中止し、「花ものがたり 助田茂蔵と女流作家たち」のみの開催とした。

来年度へ向けて R2年度の実績  
R1年度はクリヨウジと仲間たち「ヒサクニヒコ原画展」と「間部詮勝遺墨展—幽玄の世界」、「あみきやら×文化遺産ジオラマ展」の3本の企画展を開催、8,672人の入館者があった。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、展示資料が県外に及ぶ企画展は開催できなかった。また、R3年度は2本予定していたが、1本は県独自の緊急事態宣言を受けて中止となった。市民が安心して芸術文化を鑑賞できる体制や環境を整えることが最重要課題である。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
市民が安心して芸術文化を鑑賞できるように、感染予防対策を徹底する。また、展示内容のWEB配信などオンラインコンテンツを充実させ、鑑賞者増を図る。また、観覧料については引き続き200円以上と増額し、財源確保を図る。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名 \_\_\_\_\_  
市民主役事業にかかる額(単位千円): \_\_\_\_\_

R4年度事業名 \_\_\_\_\_  
市民主役事業にかかる額(単位千円): \_\_\_\_\_ 0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存整備事業
R2年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存整備事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2020	終了年度	2027
	目的	県内最古級の民家である重要文化財「旧瓜生家住宅」について、修理事業を実施し保存保護を図る。				
	概要	耐震診断、耐震補強対策、修理実施設計 耐震対策工事、茅葺屋根の葺替工事、監理業務委託ほか				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	国庫・県費補助事業として、市が修理事業を推進する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
事業進捗率		%	目標値			5	0	10
			実績値			5		
計算 根拠			達成率			100		
			実数値					
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額				2,300	0		事業タイ	補助(国)事業
	決算額				1,287			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1							0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

**今年度 R3方向性⇒** 休止(R3以降使用) 休止

**取組内容**  
旧瓜生家住宅の基礎部が沈下している可能性を指摘され、経過観察を要するため

---

**来年度へ向けて R2年度の実績**  
旧瓜生家住宅周辺の地形測量(A=6,295㎡)を実施

**R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題**  
建材の歪みや建物の沈下の有無について経過観察中。このため修理内容が未定(寿命をむかえた茅の葺き替え以外の修理要素が不確定。R3.8文化庁・県の現地視察時において、早急に原因を究明し修理方針を決定するよう指導)

**実績と課題を踏まえたR4年度の変更点**  
建材の歪みの原因を特定する作業の実施と修理方針の決定。修理事業概算費用を算出。令和5年度からの国庫補助事業採択に向け国・県・文化財建造物保存協会等専門家の指導を踏まえ修理事業実施に向けた環境を整備。

**R4方向性⇒** 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0